

「ツマジロクサヨトウ」に注意

温暖な地域では早い時期からの発生が懸念されます。
飼料作物のほ場を確認し、適切な防除に努めましょう。

農林水産省 生産局 畜産部 飼料課

ツマジロクサヨトウ防除飼料生産マニュアルが公表されました。
詳しくはこちらのQRコードからご確認ください。

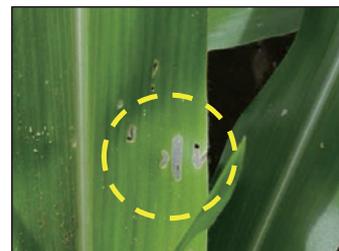


飼料用とうもろこしの芯に隠れているツマジロクサヨトウ



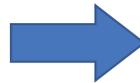
出典：植物防疫所

白い筋状の加害痕



出典：宮崎大学

早期発見・早期防除
が不可欠



農薬散布等による防除

被害の拡大防止のため、

- ✓ 筋状の加害痕をできるだけ早く発見し、適期での薬剤散布を実施しましょう
- ✓ 暖かくなるとツマジロクサヨトウのリスクが増します。茎葉型除草剤の散布時期に、ツマジロクサヨトウの加害痕がないか注意深く観察してください
- ✓ 堆肥等を適切にまき、初期成長を速やかに進めることで、加害の危険性を減らしましょう

(※) ツマジロクサヨトウに関する情報はこちらでも確認できます。
(http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)



ツマジロクサヨトウに対しては以下の農薬を使用して防除を行ってください。

以下に記載した農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能です。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍数、使用回数を守ること、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。

○飼料用とうもろこし

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
BT水和剤(14459,21694,21695)	散布	発生初期 但し収穫前日まで	100~300L/10a	1000倍	—
BT水和剤(19885,20653,21944)	散布	発生初期但し、収穫前日まで	100~300L/10a	2000倍	—
カルタップ水溶剤	散布	収穫21日前まで	100~300L/10a	1000倍	2回以内
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫90日前まで	100~300L/10a	6000倍	3回以内
MEP乳剤	散布	収穫30日前まで	100~300L/10a	2000倍	2回以内

○ソルガム(飼料用)

農薬の種類	使用方法	使用時期	散布液量	希釈倍数使用量	本剤の使用回数
アセタミプリド水溶剤	散布	収穫45日前まで	100~300L/10a	6000倍	3回以内
アセフェート水和剤	散布	収穫30日前まで	100~300L/10a	1000倍	3回以内

(注) BT水和剤に記載している () 内数字は登録番号。農林水産省消費・安全局植物防疫課webページから抜粋 (令和元年9月2日現在)